

英米兩國の對日通牒に關し一月十六日の各紙は、同通牒の提出時期は遲きに失したか、米國と同様方針の下に英國の立場を率直に言明したものと見て、實意を表して居る、主要新聞の論調左の通り

○「一でーりー・てれぐらふ」紙（保守系） 英國の對日通牒は、昨年十月及十二月の米國兩の通牒と歩調を同じくして居る。英米兩國は支那に對する投資及通商の主要關係國として、日本が歐洲諸國の進出を排除し、支那を植民地化せんとする「東亞新秩序」の形成を憂慮して居るのは當然である。日本の懸望に對する支那の抵抗が強化し、雲南、緬甸道路が新設され、又英米が對支借款に弄出したことは、支那が依然獨立國たることを示すもので、東亞新秩序の敵候は何等見えない

○「一まんちえすたー・がーでいあん」紙（自由系） 九國條約は大體後秩序回復の爲に締結された條約中、最も理想的且實際的なるものである。日本が右條約を新事態に適せずとして、廢棄し乍

△對日通牒を支持（各紙）

英國政府の對日通牒に關し一月十六日の各紙は、同通牒の提出時期は遲きに失したか、米國と同様方針の下に英國の立場を率直に言明したものと見て、實意を表して居る、主要新聞の論調左の通り

○「一でーりー・てれぐらふ」紙（保守系）

英國の對日通牒は、昨年十月及十二月の米國兩の通牒と歩調を同じくして居る。英米兩國は支那に對する投資及通商の主要關係國として、日本が歐洲諸國の進出を排除し、支那を植民地化せんとする「東亞新秩序」の形成を憂慮して居るのは當然である。日本の懸望に對する支那の抵抗が強化し、雲南、緬甸道路が新設され、又英米が對支借款に弄出したことは、支那が依然獨立國たることを示すもので、東亞新秩序の敵候は何等見えない

○「一まんちえすたー・がーでいあん」紙（自由系）

九國條約は大體後秩序回復の爲に締結された條約中、最も理想的且實際的なるものである。日本が右條約を新事態に適せずとして、廢棄し乍

に對し、感謝すへきてあらう

○一にゆゑす・くろにくる「紙（自由系）」對日通牒は、日本の大陸支配を目指す日滿支の一ぶろつく「計畫」を容赦なく暴露したもので、英國の政策は米國の夫れと平行的であるか、米國に遅ること甚たしい。英國政府が極東の現實を覺るに、七年を要したのは甚た遺憾である

○一でーりー・えきすぶれす「紙（保守系）」右通牒は、日本が占領地區より英國貿易を閉め出さんとするに對して抗議したものであるか、英國も亦日本の通商に對し、閉鎖し得へき門戸たる「一こんごー」盆地條約がある。日本の支那に於ける對英工作は、英國に右條約廢棄の充分なる権利を與ふるもので、英國は右廢棄を直に實行すへきてある。斯くて「一らんかしやー」に正當に屬する阿弗利加の市場を確保し、綿業關係の失業を救済し得やう。

△日伊新協定成立説

一月十七日「にゆーす・くろにくる」は日伊三國同盟問題に關し、伊國に於て英伊會談か、何等成果を齎さざるべきを見越し、獨逸側とも聯絡の上「ちえんばれん」首相訪伊の兩三日間、「ちあの」松より白鳥大使に對し、本月末迄一切の手續を完了し、新協定を公表し度しと申入れた、日本側は之を受諾せるも、目下英米より巨額の軍需品を輸入し居る状態なるに鑑み、協定の對象を單に蘇聯に局限せんと主張するに反し、英米「ぶろつく」の擡頭を快しとせざる「むそり」に「首相は、遽に日本側の提議に贊成せず、現在此の點交渉中であるか、結局伊國側の希望通りに纏まるものと推測せらる」との趣旨を報道した。

獨逸

△獨の防共工作と「うくらいな」進出

一月十七日「たいむす」は、獨逸の東方進出の企圖に關し、十六日柏林發通信として、防共協定新加入國たる洪牙利外相は目下訪